

特別講演会

主催：先導物質化学研究所

共催：精密有機合成化学リサーチコア

題目：スルホキシイミンの合成と不斉触媒への応用

講師：岡村 浩昭 助教授

（鹿児島大学理学部生命化学科）

（九州大学先導物質化学研究所非常勤講師）

日時：2006年11月30日（木）午後3時30分より

場所：理学部化学第3講義室

（箱崎キャンパス理学部2号館2階2273室）

岡村先生はキラルな化合物の新規不斉合成法の開発とその不斉制御子としての機能の解明を積極的に進められ、顕著な成果を挙げておられます。本講演ではキラルな有機硫黄化合物であるスルフィリミンおよびスルホキシイミンの合成と、キラルスルホキシイミンを触媒とする不斉反応についてご講演いただく予定です。多数ご来聴くださいますよう案内申し上げます。

要旨：有機硫黄化合物、特に4価以上の酸化状態の硫黄は、合成的な有用性が高いこと、またキラル化合物となりえることから、興味深い化合物である。この分野の研究はスルホキシドとスルホンを中心に行われてきたが、最近ではスルフィリミンおよびスルホキシイミンの重要性が注目されつつある。本講演ではスルフィリミンおよびスルホキシイミンの合成とキラルスルホキシイミンを触媒とする不斉反応について紹介する。

連絡先：

九州大学先導物質化学研究所

稲永純二（電話 642-2733、inanaga@ms.ifoc.kyushu-u.ac.jp）

古野裕史（電話 642-2734、furuno@ms.ifoc.kyushu-u.ac.jp）